



東北大学



報道機関各位

平成 22 年 8 月 31 日
東北大学大学院医学系研究科

子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)
宮城ユニットセンター開所記念式典
並びに
宮城県地域エコチル調査運営協議会設立総会を開催

東北大学大学院医学系研究科に4月1日より「環境遺伝医学総合研究センター」が設置されました。同センターは、環境省が、全国十万人を対象に十六年間の長期に亘り、出生コホート研究として実施する、子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)「宮城ユニットセンター」の宮城県の調査拠点として発足したものです。

エコチル調査を実施するにあたり、宮城県をはじめとする県内の各自治体、各医療機関及び関連諸団体等のご協力をいただき、3年間で9000人の妊婦さんとそのご家族の登録、ならびに13年間の追跡調査を達成することとしております。

このたび、宮城県知事と東北大学総長の間で、「環境省・子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)の協力に関する協定書並びに環境省・子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)の実施協力宣言書の調印式」を行いました。また、「宮城県地域エコチル調査運営協議会設立総会」を行い、今後のエコチル調査の宮城県域における調査の遂行について協力体制を確認しました。

【経緯】

近年、子どもに対する環境リスクが増大しているのではないかと懸念があり、化学物質を中心とした有害物に対する子どもの脆弱性について関心が高まっています。

環境省では、環境リスクが私たちに与える影響を明らかにするため、子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)を計画しました。2010年度より、全国各地で10万人の妊婦の方々を対象に調査を開始することを目標としており、宮城県でも9000人の妊婦の方々を対象に調査を開始する予定です。東北大学大学院医学系研究科では、環境省が作成した基本計画に基づく宮城ユニットセンターとして調査を実施することになりました。調査対象地域は宮城県気仙沼市、南三陸町、石巻市、女川町、栗原市、登米市、大崎市、加美町、涌谷町、色麻町、美里町、岩沼市、亘理町、山元町の6市8町で、実施期間は平成23年1月1日～平成38年12月31日となっています。

(お問い合わせ先)

東北大学大学院医学系研究科

環境遺伝医学総合研究センター／エコチル調査宮城ユニットセンター

Web Page: <http://www.ec-muc.med.tohoku.ac.jp/>

助教 目時弘仁

電話番号:022-717-7577

Eメール:hmetoki@med.tohoku.ac.jp

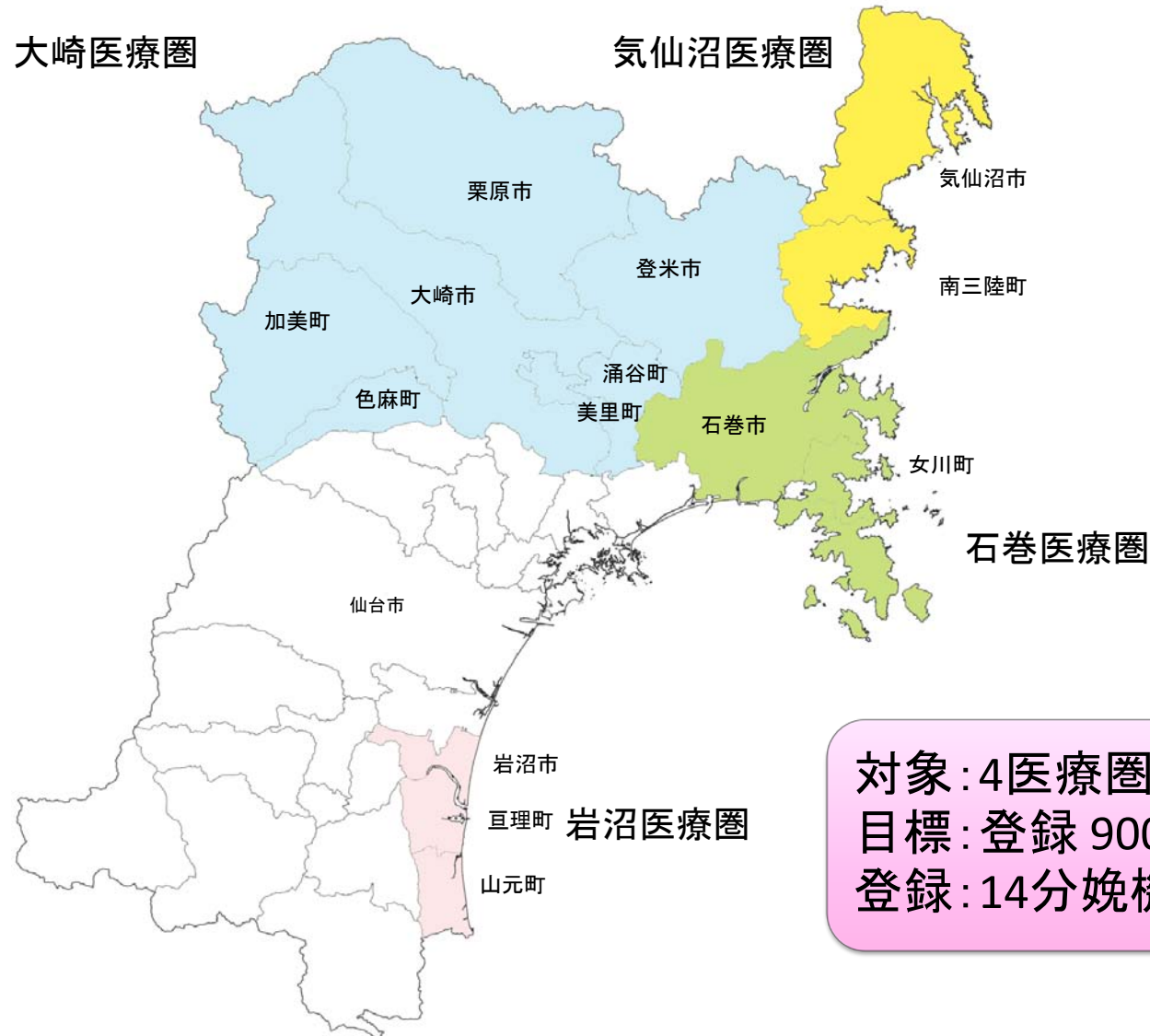
(報道担当)

東北大学大学院医学系研究科広報室

電話番号: 022-717-7891

ファックス: 022-717-8187

Eメール: pr-office@med.tohoku.ac.jp



対象: 4医療圏、14市町
目標: 登録 9000名 / 3年
登録: 14分娩機関(予定)